

謹賀新年

昭和59年元旦



洛友会会報

京都市左京区吉田本町
京都大学工学部
電気工学科教室内会
洛友会

洛友会役員

副会長 松田長三郎

芦原義重
本多静雄
(中部支部長)

異良知
真田安夫
(中国支部長)

株式会社 島津製作所

取締役会長 上西亮二

三洋電機株式会社

理事長 前田義里

関西電気保安協会

トクデン株式会社
代表取締役 北野山人

電気関係教室
教官一同

財団法人

松下電器産業株式会社
有志一同

京都大学

常任幹事	九州支部長	東北支部長	四国支部長	北海道支部長	関西支部長	東京支部長
山口春男	河本勝文治郎	藤本毅	三国義則	岡田義則	西岡敏二	浜口俊一
男	孝	治	毅	義	正	俊

フジテック株式会社

取締役社長 内山正太郎

シャープ株式会社

株式会社 シンコーメタリコン
取締役会長 立石亨三

日新電機株式会社

株式会社 日比谷総合設備

株式会社 電気評論社

株式会社 日本電子開発

ソフトウェア
株式会社 コンサルタント

松下電子開発学園
取締役社長 松尾三郎

株式会社 電子開発学園
取締役社長 松尾三郎

栗原産業株式会社
代表取締役 栗原英三

高周波熱鍊株式会社

株式会社 日立化成工業

株式会社 日本電子開発

株式会社 コンサルタント

株式会社 電子開発学園
取締役社長 松尾三郎

日立化成工業
取締役会長 高木正

新年賀謹

昭和59年元旦

近藤文治先生 池上淳一先生の停年退官について

京都大学工学部、近藤文治教授および池上淳一教授には、昭和五十九年四月一日をもって停年退官されることになりました。

近藤文治教授は、昭和十八年京都帝国大学電気工学科を卒業になり、同大学院特別研究生として研鑽を積んだ後、昭和二十年母校工学部講師として電気工学科に奉職されました。昭和三十二年に助教授に昇進、昭和三十二年には電子工学科自動制御第一講座の担任教授となり、また電気系教室の改組に伴い、昭和四十六年電気工学第二学科に移られて自動制御工学講座を担当され、今日に至つておられます。この間、各種過渡現象の新しい解析法の開発、アナログシミュレータ・デジタル微分解析機・各種電子制御装置の製作・実用化、最適化制御系の適応制御、ゲームの理論に基づく学習制御、大規模システムの安定条件、古典理論と近代理論を融合したCAD手法の確立、神経ペルスの解析、血液疾患の判別法の提案等、広範囲にわたり数多くの独創的・先駆的な研究業績を挙げて來られました。また大学行政においては、昭和四十四年より四十五年まで京都大学評議員を、昭和四十八年より五十年まで京都大学工学部長を務められ、当時の大学紛争の解決に多大の貢献をされました。さらに学外にあっては、日本自動制御協会会长、計測自動制御学会副会長、電気学会関西支部長、応用科学研究所理事長など学会等の要務を歴任され学術の発展に尽くされたとともに、文部省科学官、文部省学術審議会専門委員、京都府科学技術審議会副会長などを務められ、学術行政の面でも大きな功績を挙げて来られました。

池上淳一教授は、昭和十八年京都帝国大学工学部電気工学科を卒業後、引き続き同大学院特別研究生として研鑽を積んだ後、昭和二十三年母校工学部助教授として電気工学科に奉職されました。さらに、昭和三十三年には電子工学科高周波工学講座担任の教授に昇進され、今日に至つておられます。この間、原子時計、熱線標準装置、断続式直流増幅器、クライストロン並列運転、周波数倍増器、低雑音パラメトリック増幅器、メーザ・レーザ共振器、レーザにおける非線形現象、通信系における雜音の理論解析、磁性体中のマイクロ波波動伝搬ならびにマイクロ波と半導体キャリア・超音波との相互作用、マイクロ波半導体素子およびそれを用いた増幅器回路、そして最近では、光集積回路、特に高効率光変調器の製作、プラズマ加熱用ミリ波大電力伝送系の研究と極めて多方面にわたつて数多くの独創的・先駆的かつ有用な業績を挙げて来られました。また、学外においても輻射科学研究会理事長、電子通信学会副会長、同関西支部長、同技術委員会委員長などの要務を歴任し、学会活動の進展に尽力されただけでなく、電々公社電気通信研究所顧問、郵政省電波研究所客員研究官、宇宙科学研究所宇宙科学委員会委員などとして我が国の科学技術の発展にも大いに貢献されました。

右記のよう、両教授は学術研究の面で多大なご業績を残されました。が、京都大学における教育についてのご貢献も、これに劣らず大きなものがありました。ご奉職以来、約四十年の長きにわたつて後進の指導・育成に尽力され、幾多の人材を世に送り出して来られたとともに、教室の円滑な運営についても常に心を配つて来られました。特に、長年の宿願であった電気系建物の新設については、教室の舵取りとして日夜心を砕かれ、その結果、赤レンガ風の立派な建物が一昨年夏、無事完工いたしました。さらに、当洛友会につきましても、近藤教授には創立以来の幹事として、池上教授には副会長として、今もお世話をいただいております。

この度、両教授のご退官を迎えるに当たり、つきのような記念行事が計画されています。

一、退官記念講演

日時 昭和五十九年三月十日（土）午後一時より

場所 京都大学工学部電気総合館
題目 「研究・教育の四十年を顧みて」 近藤文治先生

「京都大学における四十年」 池上淳一先生

北陸電話工事 株式
会社
財團法人
応用科学研究所

新年お目出とうございま

会員各位のご健康とご活躍を
お祈り申し上げます

昭和59年元旦

洛友会長 松田長三郎

昨年は、一般的には、景気は世界的に低迷の状態でありました。さて、今年は、どういう状態に展開して行くでありますか。景気回復の明るい曙光が見え初めたと言われていますが、我々の一人一人が、その活動指向の原動力であることを思う時、この年頭に際して、一層の精進努力を期したいものである。

我国の食糧自給率は30数パーセントであり、食糧やエネルギーの

大部分を輸入に待たねばならぬ現状は寒心の至りであるが、相互融通のできる間は良いが、一旦輸入の杜絶した場合を考えると、誠に寒心に堪えないものがある。

(松田画)

私共はお互に、知的業務・産業に従事しているものであるが、無から有を産み出す頭脳の働き、研けば研く程、磨けば磨く程、光を増して来るのが頭脳の働きである。頭を働かせての知的産物、言わば頭脳の輸出、これこそ、我国の現在の、また将来の我がお家芸であり、期待をかけられているものである。一層研ぎすましたいものである。お互いに、夫々の分野で頑張りましょう。

世界における日本の地位・立場も、激急に変って来ました。これからは、こう立場で、ものを見、或は考えることが必要になつて来ました。エレクトロニクスの発達のため、世界は愈々狭くなつてきました。世界の隅々まで、そ

の情報は瞬時に、伝えられて来ます。適切な対応が要求されます。我国は以前から、東西文明の接点、融合点のように考えられていました。また実際、そういう地理的条件にも恵まれていました。約50年以上も前、筆者が、ドイツ在留当时、「光は東方より」とか、「日出づる国日本」などと言われていました。それが今や、はつきりと、我国興隆の顯著なあかしとなりて実現されて来たのであり、全くお目出度いことであり、今昔

終りになりましたが、洛友会名簿その他洛友会の運営・事務万端につき、いつも大変お世話になつています教室の近藤文治先生、その他の方々に深厚なる謝意と敬意を表します。

故萩原博君を悼む

昭和七年卒 浅井光枝
西岡敬二

君は今秋の昭七会の奥能登旅行を楽しみにしていたのに、残念にわが頭脳の輸出、これこそ、我が家の現在の、また将来の我がお家芸であり、期待をかけられているものである。一層研ぎすましたいものである。お互いに、夫々の分野で頑張りましょう。

君は、こよなく北陸を愛し、最も安らかに昇天して下さい。ご冥福を祈る。

君は、こよなく北陸を愛し、最後まで北陸に住みついた今、北陸に關係のある我々クラス仲間が、何か一文を寄せ書きしようと、去る奥能登旅行の際、話題にのぼつたのである。浅井は四高卒業で、

浅井、石川の語るところである。西岡は、同社に君を訪ねて工場見学に行つたことがある。君の得意の時代が続いていた頃であった。

その後、昭和五十二年、京都の亀岡市在の開明伸銅線の顧問として、単身赴任、技術指導に専任する。近く任務を果して高岡へ移り住むことになると、電話で知らされて、仲々思うにまかせ得なかつたのか、早急に実現しなかつた。

君は、大変人なつこく、友情深く、多くの人から親しまれる人柄であった。クラス会には、努めて

の感に堪えぬものがある。

会員々か、国内外に、活動をして下さっていること

は、大変ありがたいことでありま

学生時代を余り知る人は少ない。それは昭六と昭七卒に、またがつて関係していたからだよと、君に聞いたことがある。卒業後は、暗黒時代が続き一堂に会することもなく、戦後過ぎたのだから、やむを得まい。

君は、戦前住友電気工業㈱に勤務、卓越した君の伸銅、圧延の技術を乞われて、戦後は、高岡市在の三越金屬㈱の幹部として連続铸造の開発に努め、伸銅技術界の重鎮であった。一生を通じて、銅合金の製造加工に専念し、幾多の新機軸、新技術を生み出している。創造することの好きな男であった。

浅井、石川の語るところである。西岡は、同社に君を訪ねて工場見学に行つたことがある。君の得意の時代が続いていた頃であった。

出席を勧んでいた。酒豪(?)かどうか、酒は大いにたしなんでいた。本当に好きだったのだと思う。**「好い酒」**の部類であろう。夜の席では軽妙洒脱な座持ちと隠し芸は、他の追随を許さなかった。美女達も大いに喜んだ(石川)。君からの遠距離電話は、趣味に近いと思われる程、長時間楽しんでいたようであった。龜山に移つてからも尚続く。東京へは、朝毎にかかるので、モーニング・コールと愛称していた(石川)。金沢へは、冬の寒い夜でも、長電話をかけてきてくれた。チビリチビリやながら(西岡)。モーニング・コールが来なくなつたと思ったら、入院していた(石川)。そして遂に永久に聞けなくなつた。淋しい限りである。

君は、昔から酒が好きであったが、それが生命とりになつたのであるうか。かつて、君が高岡在住中の頃、大阪から東京へ出張の途次、東京で病に倒れ、大手術を受け一命をとりとめた。酒をやめるように忠告した。しかし本当に好きな酒に、一生をかけていたのである。今度の君を奪つた病は、酒によるものではなく、恐らく今不治と呼ばれるガン細胞に、考えが及ぶのである。君は今も天国でチビリチビリやつていてるだろう。君の信念のために敢えて、このの説を捧げておきたい。

君はまた信念の人だと思う。金沢医科大学(私立)が、数年前設立開学されるや、学生の解剖教材用に不足する遺体献上運動に参画され、その献体後援会の会長となり、友人に勧誘をつづけていた。無論、献体申込第一号であろう。我々もすすめられたが、凡人の我

名簿の計算機化について

昭33年 田 丸 啓 吉

さんは御了承下さい。

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

々は、ついにその城に達し得ず、
住所は空欄にしてあります。洛友会の各支部の所属会員数は住所の都道府県によって集計されています。

十二日早朝、高岡の病院で昇天され、その献体後援会の会長とな

れてしまつた。心から敬意を表す無論、献体申込第一号であろう。

我々もすすめられたが、凡人の我

ると共に哀悼の誠を捧げる。

天上有る君の御靈よ、何卒神のめぐみ豊かに、安らかに眠らせ

ええ。(文責・西岡)

ます。これらの漢字はご本人の記入を尊重して統一しません。

「澤」、「高」と「萬」、「浜」と「濱」、「広」と「廣」などが同じ読みの姓でも別個に分類されています。

が、「吉」と「吉」は記入自体が厳密に区別されているように見えます。

ます。これは名簿に登録してある所一ヶ所に記入されますが、主と思われます。

会員の皆様からの連絡によります。

所一ヶ所に記入されますが、主と思われます。

当をつけていただくようにお願いします。勤務先はコード化して分類しているため、一人一ヶ所にしています。勤務先を二ヶ所記入された方も居られましたが、一ヶ所のみを採用しました。

☆ ☆

前名簿には卒業年度、学科の間違っていた人が数名ありました。が、今回の名簿では訂正してあります。このようないか集上の誤りは出来るだけ訂正しましたが、住所や勤務先などデータそのものの誤りは訂正ができないため、相当数の誤りがあると思われます。なお記入をお願いした調査票の回答率は、約五〇パーセントでした。約半数の未回答の方の記載事項は前の名簿から転載したものです。

☆ ☆

今回の計算機化により会員データベースが完成しました。データの入力には相当な経費がかかっていますので、今後はこのデータを活用することが望されます。洛友会関係の各種行事等で、名簿や宛名印刷が必要とされる方は、事務局へご相談下さい。

電気系教室だより

会諸兄に何かとご報告申し上げる

ために、今回より教室だよりの欄を設けさせて頂くことになりました。教室の教官人事異動について本年度初めから現在までの間に、次の者が新任、昇任あるいは配置換致しました。

手塚哲央

昭和58年4月1日、

電気工学教室(西川研)

助手に新任

(昭和53年東大電気工学科卒)

原武久

昭和58年10月1日、

電気工学教室(卯本研)

助教授に配置換

(昭和40年電気工学第二学科卒)

麻生武彦

昭和58年10月16日、

超高層電波研究センター助手より一般電気工学講座(安倍研)

助教授に昇任

(昭和42年電子工学科卒)

冬木隆

昭和58年4月1日、

電子工学教室(田丸研)

助手に新任

(昭和53年電子工学科卒)

西川禪

昭和58年4月1日、

電気工学第二教室

主任

(松波研)

助手に新任

(昭和42年電子工学科卒)

西川禪

昭和58年4月1日、

電気工学教室(西川研)

助手に新任

(昭和53年東大電気工学科卒)

西野茂弘

昭和58年4月1日、

電気工学第二教室

主任

(昭和49年電子工学科卒)

第六条

の終りから昭和40年代の初め頃までに卒業された方々

たわけではなくて、数年間途絶えていた阪大との交流スポーツ大会もやがて復活しましたし、また先輩の方をお招きしてご講演頂く会

てリクリエーションを兼ねた見学もたまには催されておりました。

以上、前置きがいさかが長くなつてしましましたが、昨年教室の南館新館も完成したことだし、久

し振りに秋の大会らしい行事を催そうということになりました。そ

して本年10月15日(土)の午後に教室で、先輩の方々の講演会と夕方からはピアパーティが開かれたわけです。教室の学生諸君(大学院生もこの頃は、修士が1学年80名近くにもなりました)には会社の方からお見えになりました。そこで、運動会、阪大電気系教室との交流スポーツ大会あるいは卒業期に迫った頃の予饗会、そして時に

お聞きしたり、学生の実習報告を聞く機会があつたりしたことを、多分憶えていらっしゃるのではないかでどうか。いわば古き良き時代の思い出として。

電気系教室懇話会秋期大会

電気工学教室主任
洛友会幹事

西川禪 一(昭30卒)

私どもの京大電気系教室には、懇話会と称する会があります。本懇話会の前身を懇話会と称された時代があつたと聞いておりますが、洛友会の発足後、それとは別に教室内の教職員ならびに学生たちも定められております。(同)

正会員として、会則第一条にのつたり、会員相互の親睦を図ることを目的として運営されることになりました。しかし、この会は、主に洛友会の発足後、それとは別に教室内の教職員ならびに学生たちも定められております。(同)

中島達三氏(日本板硝子KK筑波研究所所長、電総研副所長、昭22年卒) 清水照久氏(富士電機製造KK副社長、昭23年卒)

室を訪問し近藤文治教授から、電気教室の建築の創建以来の歴史と、今回正面玄関外観は創建当時そのままの赤煉瓦を残しての改築、増設の御苦心談を承り、建物内部を参觀した。

故大久保達郎氏が五十周年記念に植樹して下さった樹は枯れたが、その記念碑が倒れたままになつたのを見、数年前林宗明教授と学生諸君の御厚意でちゃんと建てられているのを見て、感謝と懐古の念を感じ得なかつた。

電気教室から山端平八茶屋に赴いて名物のとろろ飯で昼食を取り午後二時散会した。

以上（小宮記）

昭和十一年同窓会報告

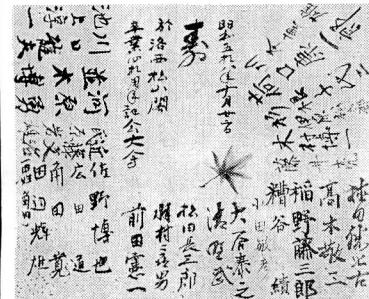
昭和十一年同窓会を催す。残り少い人生、五・十の区切りを待てない。今回は東京組が担当し伊豆下田町蓮台寺温泉、清流荘に於て十月四・五日に開催した。奥地の事とて参加者が少なくはないがと心配したが結果は遠く九州より加来御夫妻及び安田振之助君、（前田君が出席予定であつたが直前になつて脳出血の為ドクターストック

翌日は土地柄、頼朝祈願の白浜



連絡、運営の一切を杉本省一君が独力取り、こゝで下された。この事を特記し深くその労を感謝致します。

以上（古池記）



妻・高木・直海・綿谷の諸君と古池、以上合計十四名が参加した。名簿には在籍は三十五名、物故者からは在住者の全員即ち杉本御夫

所宝福寺、下田ローブウェーにて周遊して丁度正午に下田駅頭にて解散した。

お互いに皆古稀を越した者ばかり、何時何が起きても不思議ではない年令である。今日斯く健康でに角数としては少しが地域的には全国大会にふさわしい盛会となつた。

扱て当日は早くから次々に参集。久闊を叙す声も高くなごやかに、中には卒業後初めてという人もあり雰囲気は一瞬の内に最高調に盛り上る。入浴で裸になれば一切が平等、社会的地位も何のその、忽ちに消し飛んで、宴は初めから華やかに、アルコールの予算は漫上りにオーバーして幹事を喜こぼした。御夫人方もビックリ、後を心配されたのではないかと思つたが、翌朝は誰もが元気な姿を表わしたので幹事も大安心した。

宴は長時に及んだが話は尚尽きずつたが、翌朝は誰もが元気な姿を表わしたので幹事も大安心した。部屋に帰つた後も長く続いた。一部の人達は夫人の一人を引張り出して来て麻雀に興じ就寝は深夜になつた模様である。

ヨッピリ、アメリカ開拓時代の霧の風景を楽しんだ。浜大津にて下船再びバスで京都駅に帰り解散したのは午後四時であった。帰途バスの中で、次のクラス会の話が出て、もうそろそろ時間をつめてクラス会をやるべきだとの意見もあり、差当つて来年、黒部峡谷

昭和十八年卒業生 卒業四十周年

記念同窓会

昭和十八年九月卒業生の卒業四十周年記念クラス会は十月二十二・二十三の両日京都で開催された。二十二日は丁度時代祭の日で、人によつては時代祭の見物を楽しんだ後、午後四時全員教室に集合、新装なつた母校の姿を見学した後、郊外の松山閣にて祝宴を開催した。卒業生の出席者は二十一名で夫人十一名を加え総勢三十名という賑やかさであった。宴席には松田先生、羽村先生、前田先生、大谷先生、清野先生の五名誉教授の先生方がご出席下され、錦上花を添えて頂いた。先生のお話、卒業生の自己紹介、先生を聞くで思い出話と夜の更けるのも忘れて話はつきず、予定の時間超過して九時近くまで頑張った。翌二十三日はバスで龍安寺の石庭を拝観、昨夜の酒の匂を清め流した後、石川丈山ゆかりの詩仙堂を訪ね、山中越えてビワコホテルに到着、昼食の後、ビワコ汽船ご自慢のミシガン号に乗船。約一時間チ

旅行をやつてはどうかということになつた。

なお桂離宮の見学は、団体で拝観することはできず、遠隔地の人には二十二・二十四日個々に拝観し、近畿地区の方は十二月上旬に拝観してもらうことになった。

(池上・近藤記)



昭和十二年卒業生 四十六周年クラス会 報告

一、昭和五十八年十月十六日(土)
一泊 会食
二、法政大学三浦莊
神奈川県三浦市南下浦町
上宮田
三、井原(二人)、石崎、岩元、
河合、清野、清水、正木、吉川
翌十七日、三浦海岸(海水浴場)

一、昭和五十八年十月十六日(土)

一泊 会食

二、法政大学三浦莊

神奈川県三浦市南下浦町

上宮田

三、井原(二人)、石崎、岩元、
河合、清野、清水、正木、吉川

翌十七日、三浦海岸(海水浴場)

を散歩、次回を五十九年十月、都心に予定して、解散。(正木記)

学校に集合。理事長室に次々と懐しい顔ぶれが揃つた。山口、副島、西堀、皆川(以上夫人同伴)

トペットとともに、まさに貴賓室のようだ。新潟交通が特ににくばりをしてくれたウイスキーで乾杯、美しいバスガイドさんのアナウンスとともに、卒業四十五周年

予定通りの新潟観光を済ませ、宿舎ホテルオータン新潟で旅装を解いた。都合でホテルに直行した、藤、富永、山本(三千雄)諸氏の元気な面々が合流した。今夜の大宴會は、松尾氏の招待による、一

入った。

卒業四十五周年クラス会 (昭和十三年卒) 『新潟、佐渡観光の旅』

昭和四十五周年クラス会
に参加する。お互元氣な再会を喜び合い和

やかな歓談のあと、日本電子開発(株)グループの發展の歴史と現況とを、ビディオ映写による解説があつた。グループ、總社員千六百名

のソフトウェア技術集団の活躍

と、全国七校の電子計算機専門学校

校(五十九年四月に鹿児島校の新設で八校となる)で、五千名に及ぶ若い力の先頭に立つて、豊かな

未来社会の構築に邁進している創立者、松尾氏の姿に、一同心から敬服するとともに、今後の益々の活躍と発展を祈つた。

次いで、しよう洒なネービーブ

ルーのタイルで外装された六階

建、約千坪の新校舎を、松尾氏の案内を見学した。エレベーターは三

部屋の丸桁がある。長さ十六間

半、明治十六年会津の山から阿賀野川を「いかだ」で運んで来たと

いう。小作人二千八百名を数え作

徳米約三万俵の新潟県下第一の地主の邸である。私はふとNHKテレビドラマ「おしん」を思い出していた。一同それぞれに昔の生活を偲びながら豪農の館を後にした。

豪華サロンカーは、新潟市松枝町で親子二代に亘り錦鯉を育てて来た佐藤倉蔵さんの自宅に着いた。池には数百匹の色とりどりの錦鯉が、絢爛豪華な水中バレーをみせていた。艶やかに、しかも悠々と泳ぐその姿に、皆つとりと時たつの恋れて眺め、精魂こめ

いよいよ実行の期日が迫つた

折、関西側の服部、桧垣、真弓、

関東側の稻井、平野(彰)の諸氏

が、已むを得ぬ事情が発生し出席を断念せざるを得なくなり誠に残念であった。

五月二十七日(金)午後一時、新潟電子計算機専門学校

案内を見学した。エレベーターは三

部屋の丸桁がある。長さ十六間

半、明治十六年会津の山から阿賀野川を「いかだ」で運んで来たと

いう。小作人二千八百名を数え作

徳米約三万俵の新潟県下第一の地主の邸である。私はふとNHKテ

レビドラマ「おしん」を思い出していた。一同それぞれに昔の生活を

思ひながら豪農の館を後にした。

豪華サロンカーは、新潟市松枝町で親子二代に亘り錦鯉を育てて来た佐藤倉蔵さんの自宅に着いた。池には数百匹の色とりどりの錦鯉が、絢爛豪華な水中バレーをみせていた。艶やかに、しかも悠々と泳ぐその姿に、皆つとりと時たつの恋れて眺め、精魂こめ

て育てて来た佐藤さんの話に聞き

是非三菱のVTRをお買い求め下

さい」と彼の商魂の逞しさに感心した。

五月二十八日(土)快晴

ホテルオークラ新潟で第一夜を明かし、いよいよ佐渡へ出発である。ホテルロビーでは関西の小林氏が、昨夜社用を済ませ馳せ参じ合流した。所用で己むを得ず富山に帰る早東氏と別れを惜しみ、迎へのバスに乗り込む。

午前八時、ジェットホイル「みかど」にて新潟港出港。昨夜の小雨もすっかり晴れあがり、雲一つない晴天である。幸い三日前の秋田沖地震の被害もなく、今朝の日本海はまるで鏡のようだ。美しい青空をいっぱいに映した藍色の海面を、時速八十キロのスピードで疾走する。やがて、沖縄に次いで二番目の大きさといわれる佐渡ヶ島の大佐渡、小佐渡の山々が眼前に展開され、あつという間に両津港に着く。所要時間は一時間であつた。

港には新潟観光特別仕立てのバスが待機しており、佐渡観光への出發である。美しいバスガイドさんのアナウンスに、「一同うつとりと聞き入りながら、バスは加茂湖を右に眺めながら国仲平野を走る。ガイド嬢の佐渡おけさに統て、ハンドルを握りながら運転手さんとの、本場仕込みの佐渡おけさに、一同歓歎の拍手が湧き上がる」

た。このバスの運転手さんとガイド嬢は、会社のナーワンとのことで、会社側の並々ならぬご配慮に感謝、仕合せな旅になり相だ。

その昔、遠流の島であった佐渡へバスに乗り込む。

京の僧豊法が建立したと伝へられる東光山清水寺、日蓮上人のゆかりの深い名刹、根本寺、島内でただ一つの五重の塔がある妙宣寺を参觀し、順徳天皇の御火葬塚である真野御陵を参拝した。炎天下の強行軍にもかかわらず、吾等クラスメートは益々元気、往年の若さが甦る。

朱鷺の郷にて休憩、ゆっくりと新鮮な海山の幸溢れる昼食となる。バスは真野湾に出て、佐和田、越の松原に立寄り、思い思いに記念撮影、次の目的地、尖閣閣へと向う。「尖閣湾」という名称は、北欧ノールウェー、ハンダンゲル峠湾の中世ゴシック建築風景に似ているところから「尖閣」と名付けられた由、ここで記念写真をとり、海上透視船で、美しい海中公園の幻想の旅を満喫した。

佐渡流人の哀史は、貴族や僧侶ばかりではない。江戸徳川幕府三百年の財政を支えた罪人、無宿人ばかりではない。お土産品を貰い求める姿に、心温

形をもつて坑内に入ると、電気仕掛けで動くロウ人形の坑夫が、當時の採掘の模様を再現し、深い感傷

が胸を打つた。

今回のクラス会には己むを得ず欠席された稻井氏(現三菱金属会長)は昭和十三年卒業後直ちに、三菱金属佐藤鉱業所、相川金山に勤務し、爾來苦節四十五年、このたび、輝く勲一等瑞宝章を受章された。クラスメートとして、心からのお祝福を捧げると共に益々の発展と活躍を祈る。

降りそぞぐ太陽の光をいっぱいに浴びて、道遊の割戸を仰ぎ見ながら、バスは大佐渡スカイラインに入る。丁度レンゲソツジの満開である。その美しく咲き乱れる大群落に、思はず目を奪われながら白雲荘展望台に着く。その眺望は素晴しく、両津湾、国仲平野、真野湾などを眼下におさめ、まさに佐渡が島を地形の形のまま見おろすことが出来た。ガイド嬢はこのように晴れ渡った眺望に会へる日は年に幾日もないとのことで、この幸運を一同で喜び合つた。

八幡温泉、八幡館に着いたのは午後五時三十分であった。佐渡唯一の自噴無火熱温泉がこんこんと湧き出ている浴場で、赤松原の美しさ

の疲れを癒した。

夕食は、大宴会場で先ず全員の記念写真をとり、ゆかしい女中さん達のサービスで、八幡館自慢の山海料理が出され、今朝早々に大阪から馳つけた小林氏の挨拶で酒宴が始まった。舞台では、新潟

交通、従業員による、郷土芸能「佐渡おけさ」「相川音頭」と、常日頃良く錆へて来た見事な演技が披露され、続いて赤鬼、青鬼が長い髪をふり乱して踊る佐渡の代表的古典芸能「鬼太鼓」が我々を楽しまして呉れる。終つて舞台では、女中さん方の手ほどきで佐渡

おけさの踊りが始まり、皆川市長夫妻、水野氏等が飛入り、宴は佳境に入つた。この時の記念写真を掲載する。

(以下次号へ)

計 報



	講大11年 野上	昭4年 松本	昭12年 井出	昭8年 塩見	昭7年 中村	昭39年 大森 昌基
講大10年 高橋千代太	58 12 23	58 忠顯 豊 重 軫治	58 12 3	58 11 12	58 10 6	57 4 8
講大11年 高田	58 忠顯 豊 重 軫治	58 12 3	58 11 2	58 11 18	58 10 6	57 4 8
講大13年 島田	58 忠顯 豊 重 軫治	58 12 3	58 11 2	58 11 18	58 10 6	57 4 8
昭3年 藪	58 勝	58 忠顯 豊 重 軫治	58 11 2	58 11 18	58 10 6	57 4 8

以上の方々がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

洛友会名簿 正誤表

過日ご送付申し上げました新名簿には、下表のような誤りがありましたので、ここに正誤表を掲載し謹んで訂正しておわび申し上げます。(表中略敬称)

頁	行	正	誤	頁	行	正	誤
10	上5へ	(20)山口春男	6行目削除	301	上7へ	大阪市立大学	脱落
々	々8へ	(30)西川禪一	(22)高木俊宣削除	303	下13へ	大阪市立大学	脱落
々	々9	(33)田丸啓吉	(28)卯本重郎削除	々	下14へ	安藤慶一(昭24) 教授 電気工学科 TEL06-692-1232 (内線3300)	脱落
18	々9	新日本製鐵	新日本製鉄	303	下15へ	奥本隆昭(昭30) 教授	脱落
19	々11	巴川製紙	巴川製紙	303	下5	削除	安藤慶一の欄
々	々29	日本原子力 発電	日本原力子 当電	306	上26へ	八村広三郎 助教授(51博氣) 情報処理 教育センタ	脱落
20	下7	佛葉業時報社	葉業事報社佛	308	上5	削除	岡本孝治の欄
36	下6	神先	神崎	324	上21	削除	神谷進の欄
72	上8	神先	神崎	々	上22	削除	真弓克己の欄
55	表	昭	無印	々	上23	削除	松見修一郎の欄
70	上10	九軒町	丸軒町	327	上24へ	神谷進(昭10)	脱落
	上10	082	882	々	上25へ	真弓克己(昭13) 顧問	脱落
80	下10	西宮市常盤 町3-22	寝屋川市池田 中町18	々	上26へ	松見修一郎 (16, 12)	脱落
81	下5	官社殿	官社殿	343	下24へ	松本博之(44II) 技術研究所 副主査	脱落
85	上6	関電	関西	382	下2へ	沖元懋(昭33) 経営企画室 エンジニアリング事業部付 課長代理	脱落
々	々	顧問	常任監査役				
86	下9	A-201	A-2				
90	下11	取締役社長	取締役副社長				
97	上2	3458	3584				
103	上11	綴喜郡	綴喜郡郡				
104	下5	佐構保逸	佐構保逸				
108	下8	宇部興産	新日本製鐵				
		研究開発本部	八幡製鐵所動力				
		電子材料開発	開発課課長				
		部長					
118	上8へ	倉野昌夫 (昭)29年卒業へ	(昭)30年卒業				
141	上5	大鋸	大鍋				
157	下1	吹田市桃山 台3-22-10	四日市市 御園町2-70				
158	下8	佐分利真久 の欄p. 232へ	誤載				
々	下5	中国電力	脱落				
		技術研究所 副主査					
174	上10	〒157 東京都 世田谷区 上祖師谷 426-637	〒658 以下削除				
174	上11	〒658 神戸市 東灘区岡本 3-9-24 TEL078-412-0528	〒641 以下削除				
201	上9	金守泰徳	金子泰徳				
211	下7	601	751				
272	上10へ	中原嘉郎	脱落				
232	下12へ	佐分利真久 (旧姓河野)	脱落				
238	下12へ	高橋則雄 上記3氏の 住所・勤務 先は別掲し ておわび致 します。	脱落				
262	下12	小野特機	小生特機				
奥付	下4	49	48				

中原嘉郎 ナカハラヨシオ

昭和15年電気工学講習所卒業

現住所 〒270 松戸市小金原7-25-4

TEL0473-43-3864

勤務先 〒101 東京都千代田区岩本町

3-4-5 東ビル TEL03-762-7141

神鋼車両株式会社 顧問

佐分利真久 サブリマサヒコ(旧河野)

昭和43年電子修士課程修了

現住所 〒305 茨城県新治郡桜村吾妻

2-712-1102 TEL0298-51-0148

勤務先 〒305 茨城県新治郡桜村梅園

1-1-4 TEL0298-54-5352

電子技術総合研究所

電子計算機部アナログ情報

研究室 主任研究官

高橋則雄 タカハシノリオ

昭和51年電気工学第二学科卒業

現住所 〒701-01 岡山市東花尻304-8

TEL0862-92-0757

勤務先 〒700 岡山市津島中3-1-1

TEL0862-52-1111 内線547

岡山大学工学部電気工学科

講師

27